



野口 昌作 議員

山林面積が減少したのはなぜか

町長

提供した資料に誤りがあった

〔野口〕平成27年度決算書の資産台帳では山林面積が73万㎡増えていた。なぜかと聞いたがわからなかった。平成28年度の決算書では43万㎡減少している。なぜか。

また、業者のミスが原因とすれば、どのような対応をしたか。

〔町長〕平成26・27年度に、台帳整備を業者に委託した。

調査の結果、職員が誤ったデータを業者に提供したミスが判明した。

〔野口〕なぜそのようなことが起きたのか。

〔町長〕町有地が非課税であるために、課税台帳に入っていない土地が多かったため。

〔野口〕課内で報告・連絡・相談を徹底して、このようなことが起きないようにしては。

〔町長〕その通りなので、今後は再発防止に努めていく。

6・9月補正予算の考え方は

人口問題解消などを 目指している

町長

〔野口〕小・中学校給食費補助金、高校通学定期購入助成、獣肉解体処理施設予算計上の考え方は。

〔町長〕就任後、人口問題、住みやすい町づくりや町内で子育てしてもらえよう支援の取り組みをやってきた。

今後は、効果の検証、

自主財源確保などの町民に理解を得る取り組みも行う。

〔野口〕所信表明を予算化する、若さと行動力で町民のための行政になると期待しているが考え方は。

〔町長〕よい町になっていく実感を感じてもらおうまちづくりを進める。



10月から通学費助成も始まった

観光委託料の検査体制は

町長

検査は建設課です

〔野口〕観光費委託料は適切な計画・指導・検査体制が整っているか。

〔町長〕計画は、見直しながら取り組む。委託先の指導は中間報告を受け、的確にし、検査は建設課できびしく行う。

〔野口〕委託料が生きてくるかで、大山観光・1300年祭が大きく変わるがどう取り組むか。

〔町長〕どういうものをやれば効果が出るかなど、しっかり検討し、議会にも成果が出たところをきびしく見たい。



成果が求められる観光行政

※他に「繰越明許費について」の質問も行いました。